

サービス導入のねらい

学生、卒業生
が
安心・安全
簡単に



いつでもどこでも

利用できるサービスを目指します

予期せぬ発券機の故障
や遠方の卒業生に備え

オンライン申請
できるサービスを
確保

(代替方法の確保)
スマートフォン対応



少子化、職員減少による
一人あたりの業務負担
を軽減いたします

(働き方改革への
取り組み)



Amazon PayおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

課題解決の取り組み

- 夜自宅からオンライン申請したい → **学生の声**
- 大学にいく取りにいく時間がない → **学生の声**
- 帰省中で窓口にいけない → **学生の声**
- 支払いの手続きが煩わしい → **卒業生の声**
- 日中勤務で大学には寄れない → **卒業生の声**

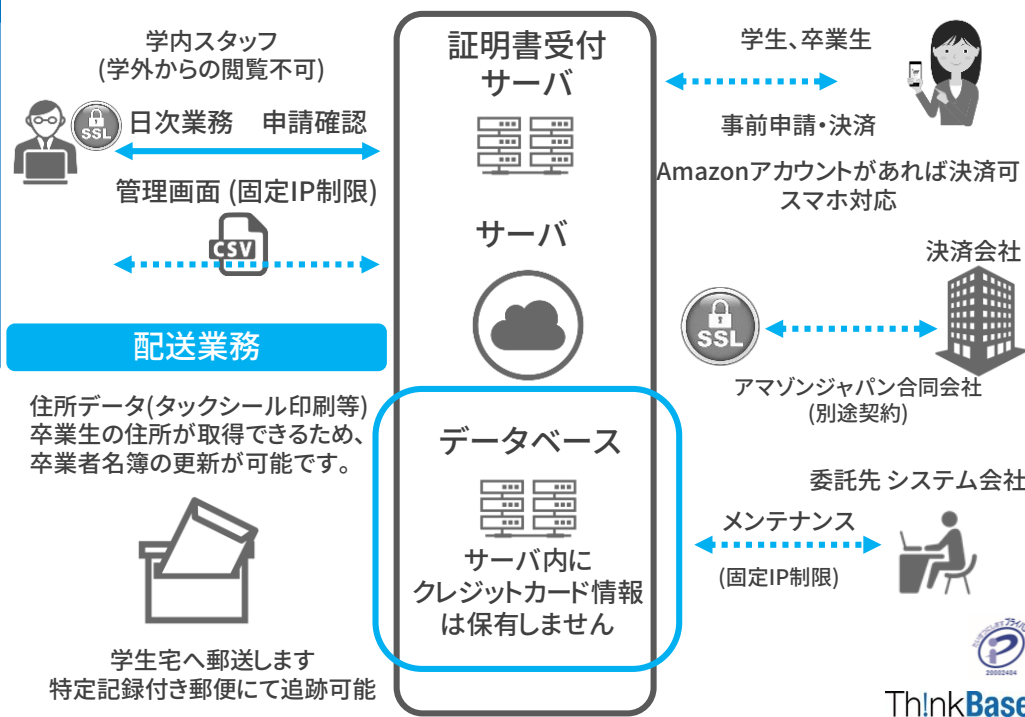
運用の流れ

Amazon Pay 限定

- 大学のホームページ経由で証明書を申請します。
(Amazonアカウントにて、オンラインで決済を可能とします。)
- 本人確認は、学生証、運転免許証、パスポート等の画像データをアップロードします。(ペーパーレス化)
- 証明書の郵送希望者を対象とします。
(学内での発行希望者は、既存の手順にて実施して頂きます。)
- 在学生利用は、特定記録付き郵便料金相当を決済し、卒業生は手数料をプラスして決済することが可能です。



学生、卒業生様向けサービス



初期費用

月額費用

Amazon Pay決済手数料

初期費用 (税別)
500,000円
(期間限定特別価格)

①サーバ利用料
月額12,000円(税別)
当社指定決済用サーバ維持(SSL証明書付)

②月額サービス費用
月額12,000円(税別)

問合せ窓口、障害対応、バックアップ
その他の運用については別途ご相談ください。

決済手数料 4.0%

(月額固定費用は不要)

Amazon Payご利用には事前
にお申込みとアマゾンジャパン
合同会社の審査/契約が
必要です。

現状の問題点

- ・郵送での証明書発行業務が煩雑であり、人手がかかる。
- ・学内設置の発行機から正常に印刷されないときがあり、窓口業務の対応となる。
- ・防犯の観点から発行機は、事務局の営業時間しか利用できない。（完全無人化対応が難しい）
- ・金銭部分の仕様変更のたびに費用がかかる。（新札対応など）
- ・発行機は、1台あたり高額になるため、各キャンパスに配置することができない。
- ・発行手数料の確認・精算不足の場合は、発行業務ができないため手続きに時間がかかる。
- ・日中に申請者との連絡がつかないケースがある。（社会人）
- ・海外申請は、入金方法と本人確認の運用がさらに煩雑となり、手続きが長期間になる傾向がある。
- ・普通郵便での申請書の返送になっているが、郵便事情によって、届かない現状がある。（特定記録を推奨）

現行の業務体制（例）

◆A大学様の場合

- ・当業務対応者3名（内2名派遣職員：交代制、夜間対応21時迄）
- ・証明書発行機（学内専用機）の不具合対応

当サービス適用のメリット、期待効果

- ・申請時には、手数料や郵送料の決済が完了しているため、担当者は発行業務だけを担うことが可能です。
- ・スマホからの申請手続きがいつでも可能であるため、卒業生や現役生にとっても利便性が高まります。
- ・海外からの申請、決済サービスにも対応しており、国際的な対応が可能になります。
- ・申請対応業務の効率化 → 省力化（省人化）が可能です。

例) 3名体制 → 通常営業時間内の2名体制を可能とし、システム導入に対する費用対効果が期待できます。